

世羅高等学校 第2学年 地歴公民科単元指導計画

- 1 単 元 名 多文化社会を比較考察する地域区分
- 2 単元の目標 移民による多文化社会が形成されている新大陸（北アメリカ・南アメリカ・オセアニア）のそれぞれの地域が形成された歴史的背景とその地域的特色を考察し、それらの特徴を比較することで、現状の課題を明らかにすることができる。

3 単元の計画（全 10 時間）

時	主な学習活動
1	【北アメリカ・自然と歴史】 北アメリカの地帯構造と自然地形、気候の特徴を説明する。 北アメリカがアングロアメリカと呼ばれる所以を説明し、現在に残る歴史的背景を考察する。
2	【北アメリカ・産業】 北アメリカの産業を、その自然地形や気候、歴史的背景と関連付けて考察し、説明する。
3	【北アメリカ・都市・人口・社会】 北アメリカの都市の在り方や人口問題、格差や人種差別などの社会問題の背景について、考察する。
4	【北アメリカ・社会とまとめ演習】 北アメリカの社会問題について、発表する。 まとめ演習の問題に取り組む。
5	【南アメリカ・自然と歴史】 南アメリカの地帯構造と自然地形、気候の特徴を説明する。 南アメリカがラテンアメリカと呼ばれる所以を説明し、現在に残る歴史的背景を考察する。
6	【南アメリカ・産業と社会】 南アメリカの国ごとの人種構成の相違を、その自然地形や気候、歴史的背景・産業と関連付けて考察し、理由を説明する。
7	【南アメリカ社会から、多文化社会を考えるー北アメリカと比較して】 多文化社会としてブラジルを取り上げ、その特徴と課題を考察し、同様の移民社会であるアメリカ合衆国と比較して、国家の政策と移民社会の関連を明確にすることで、今後増加するであろう国家間の人の移動によって生じると課題の解決に向けて、どのような政策が有効であるかを考察し、発表する。
8	【オセアニア・自然と歴史・産業】 オセアニアの地帯構造と自然地形、気候の特徴が説明する。 オセアニアの産業を、その自然地形や気候、歴史的背景と関連付けて考察し、説明する。
9	【オセアニア・多文化社会】 オーストラリア・ニュージーランドの先住民政策や、白豪主義からの転換、移民と産業構造などを、資料から考察する。
10	【北アメリカ・南アメリカ・オセアニアの比較と日本との関係】 移民による多文化社会が形成されている新大陸（北アメリカ・南アメリカ・オセアニア）のそれぞれの地域が形成された歴史的背景とその地域的特色を考察し、それらの特徴を比較し、今後の日本との関係を想定して発表する。

⇒ 本時

4 本時の目標

北アメリカ（アメリカ合衆国）・南アメリカ（ブラジル）・オセアニア（オーストラリア）の新大陸国家それぞれの多文化社会を比較し、歴史的背景や地球上の位置、産業との関係からその相違点と共通点を整理し、これからの日本（やアジア諸国）との関係を想定して発表する。

（１）北アメリカ（アメリカ合衆国）・南アメリカ（ブラジル）・オセアニア（オーストラリア）の歴史的背景や地球上の位置、産業の特徴などの基礎知識が整理できる。

（２）資料から産業の共通点と相違点を読み取り、分析に利用することができる。

（３）日本との関わりに注目した視点で、現在から将来につながる視点をもつことができる。

5 学習の流れ（10 時間目／全 10 時間）

学習活動 (○発問, ●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ ○生徒アンケート「自分が移り住むとしたら、3つの多文化社会の中で、どの社会が良いと思うか」の結果から、その結果に対する意見交換をする。</p> <p>2 本時のめあて（課題）提示</p>	<p>◇授業で取り上げた内容や出た意見が反映されている点を、検証しながら進める。</p> <p>◇意見交換をするグループは、アンケート結果が多様になるようなグループにする。</p>	
<p>本時のめあて：移民で成り立ってきた新大陸諸国の共通点と相違点を比較し、これらの地域とこれからの日本がより良い関係を築くために解決しなければならない課題とその解決方法について発表する。</p>		
<p>○振り返りシートから、北アメリカ（アメリカ合衆国）・南アメリカ（ブラジル）・オセアニア（オーストラリア）の歴史的背景や現在の産業構造など、基礎知識を出し合う。</p> <p>・共通点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国が大きい ● 食料輸出国（農業生産力が高い） ● 資源が豊か <p>・相違点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口規模 ● 先進国とBRICSの相違 ● 移民政策の相違 ● 地理的な場所の相違 <p>○現在の移民の状況の資料から、特にアジアとの関わりに注目させ、共通点と相違点は、現在の移民政策にどのような関わっているのか考察する。</p> <p>○地域的なつながりや、人口問題（労働力確保の視点）がどのように影響しているか、考察する。</p> <p>○今後の日本がより良い関係を築いていくために解決しなければならない課題とその解決のための手段について発表する。</p>	<p>◇現有の知識を出し合って整理させる。 3地域の共通事項（イメージ）と相違事項（イメージ）に分ける。・・・ワークシートを活用 ◇グループで整理し、発表する。</p> <p>◆手持ちの資料など参考になるものを具体的に提示する。</p> <p>◇資料から、移民政策の概要を読み取ることができているかを確認する。</p> <p>◇地域ごとに進む政治・経済協力の枠組へ、多文化社会の進展が及ぼす影響について注目させる。</p> <p>◇3地域の共通課題と地域独自の課題が明確になるような発表の形態になるようにする。</p> <p>◇学習前と学習後の自分の考えの比較をさせる。</p>	<p>・移民に関する資料をもとに、それぞれの国の移民の状況について、考え、その共通点と相違点を適切に把握できている。また、それぞれの地域と日本の関係を考え、課題を明確にし、その解決のための手段が提案できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>
<p>6 振り返り 振り返りシートを作成する。</p>		